特集1

災害への備え、今できること



道路陥没（坂井市丸岡町上久米田）


ソバ冠水（福井市半田町）


河川溢水（福井市古市）



福井県災害対策本部

近年、地震や豪雨などの災害が全国各地で発生しています。令和8年8月29日からの大雨では、県内各地で浸水被害が広がり、住宅や道路に加え、農地や農作物にも大きな被害が発生しました。

いつ起こるかわからない災害に備え、今できることに取り組みましょう。

近年発生した災害

災害	主な被害（令和8年11月6日時点）
令和8年8月29日からの大雨（福井県） （令和8年8月29～30日）	県内各地で記録的な降雨を観測し、福井市や坂井市では24時間雨量が観測史上最大を記録。浸水被害が発生し、負傷者3人、住宅被害は1,661棟
令和8年8月千葉豪雨 （令和8年8月13日～14日）	記録的な大雨により河川氾濫や浸水が発生。死者13人、負傷者46人、住宅被害は約6,200棟
令和8年熊本地震 （令和8年7月28日）	熊本県で最大震度7を観測。死者38人、負傷者383人、住宅被害は約86,700棟
令和6年能登半島地震 （令和6年1月1日）	石川県で最大震度7を観測。死者744人、負傷者1,277人、住宅被害は約116,500棟





お問い合わせ　危機管理課／TEL.0776-20-0308

＼防災士インタビュー／

命を守るために今できること



福井県防災士会
理事長
二木 佐緒里 氏

防災を「自分事」に！今できる備えを始めましょう

事前に災害に備えるには、ハザードマップを確認するなど、まず身の回りのリスクを知ることが大切です。スマホがあれば自宅周辺の災害リスクや避難情報を手軽に確認できます。インターネットの防災情報サイトやアプリも便利です。こうしたデジタルツールも活用して、自分から情報を取りにいく習慣をつけると良いと思います。

全国で災害が頻発する中、福井県でも今年8月、記録的な大雨被害が発生しました。今後も台風などによる水害に注意が必要です。水害では、危険が迫る前に安全な場所へ避難することが重要になります。普段から避難先や避難経路を事前に確認しましょう。避難が遅れても無理に避難せず、「垂直避難」をしてください。地域の防災セミナーや避難訓練も大切です。住民同士の顔の見える訓練によって、災害時の迅速な安否確認にもつながります。

福井県の防災力を高めるには、一人ひとりの備えが欠かせません。福井県防災士会では、防災を「自分事」にしてもらうための啓発活動に取り組んでいます。座学に加え、ワークショップなど体験型の講座に力を入れています。ぜひ参加していただき、「命を守るために今できること」を始めましょう！

東日本大震災の被災地支援に参加した二木理事長は、自分が暮らす地域のために「できることをしよう」と考え、2013年に有志とともに防災士の資格を取得しました。防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力向上のために活動する人材であり、必要な知識・技能と防災意識を備えた者として日本防災士機構が認証した人です。

防災情報を活用しましょう！

●福井県公式LINE
県政情報や県内の防災情報を配信しています。

●福井県庁 危機管理課・消防保安課公式X
県内の気象情報・緊急情報等の配信を行っています。
フォローして災害に備えてください。

●福井県防災ネット
地震や津波情報、避難所開設状況、公共交通・ライフラインの状況など、災害に関する情報を集約しています。

●キキクル（気象庁）
大雨や洪水などの災害リスクが「どこで」「どのレベルで」高まっているかを、地図上で一目で確認できる情報サービス「キキクル（危険度分布）」を提供しています。

防災士育成に取り組んでいます！

県では毎年、防災活動等の指導的な役割を担う人材を養成し、地域防災力の向上を図るため、防災士の資格を取得できる福井県防災士養成研修を実施しています。
いざというときに備えて、防災士の資格取得を目指してみませんか。



今できる！災害への備え

地震や大雪などの災害から自分と大切な家族を守るには、今できる備えが大切です。まずは、備えが万全かどうかチェックリストや耐震診断で確認しましょう。

⚠ 災害時の備え チェックリスト

チェック項目に☑を入れてみてね！



Check! 01 家庭内備蓄、足りていますか？

水は1人1日3L



POINT 家庭内備蓄は7日分を準備

Check! 02 非常用持ち出し袋を準備してますか？

水・食料は3日分



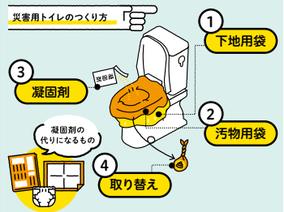
POINT すぐ持ち出せる場所に保管

Check! 03 避難場所まで歩いたことがありますか？



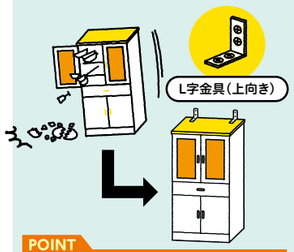
POINT ハザードマップで事前に避難場所を確認し、歩いてみましょう

Check! 04 まず困るのは、トイレ問題！



POINT 1人あたり35回分（7日分）の災害時トイレの備蓄が必要

Check! 05 家具を固定していますか？



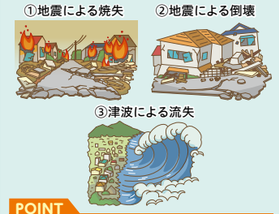
POINT ネジ固定（L型金具など）が最も効果的

Check! 06 情報収集がスマホ頼りになっていませんか？



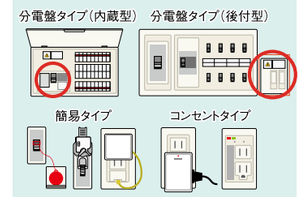
POINT 充電が切れた時に備えて、防災冊子やハンドブックなども手元に置いておきましょう

Check! 07 地震保険に加入していますか？



POINT 地震保険は被災後の生活再建に大きな役目を果たします（火災保険とセットで加入）

Check! 08 感震ブレーカーを設置していますか？



POINT 地震の時、電気を自動で遮断できる感震ブレーカーを設置しましょう

備えは万全ですか？

チェックが付いた数を数えてみよう！

- 0〜1個（20%以下）… まずはできることから始めよう！
- 2〜4個（25〜50%）… 備えは着実に進んでいます！
- 5〜7個（63〜88%）… あと少しで備え万全！
- 8個達成（100%）…… 備え万全！

災害発生時には「災害用伝言ダイヤル」を活用！

171にダイヤル

録音は1　再生は2

自宅（被災地）の電話番号

伝言の録音　伝言の再生



⚠ 地震への備え あなたの家は大丈夫？



令和６年能登半島地震では、建築基準法の改正（昭和56年）前に建てられた木造住宅が多数倒壊しました。福井県には、昭和56年5月以前の木造住宅を対象とした耐震改修等の補助制度があります。ぜひご活用ください。

まずは耐震診断

＼ 3ステップで完了 ／

1 住宅の耐震性を確認　**2 補強方法を検討**

耐震診断 ＋ 補強プラン

耐震診断士が住宅の耐震性を調査

補強の方法や改修費用を提案

自己負担 **最大1万円**

※耐震診断と補強プラン作成は同時のお申込みが条件です。



▲漫画でわかる木造住宅の耐震化

3 工事により耐震性を確保

耐震改修工事

筋交いなどを取り付け、耐震性を向上

補助額 **最大140万円まで**

さらに

高齢者（65歳以上）のみの世帯の場合 **35万円加算**

OR

過去に作成した補強プランとは別の補強方針で、耐震改修工事を実施した場合 **10万円加算**

補助制度はこちら

補助額および加算の有無については、市町により異なるため市町担当課までお問い合わせください。

お問い合わせ　建築住宅課／TEL.0776-20-0506

⚠ 雪への備えを万全に！



これから雪のシーズンが到来します。雪に備え、事前に準備を始めましょう。最新の気象情報を確認することも大切です。大雪などが予想される場合には、不要不急の外出を控えて身を守りましょう。また、除雪や屋根雪下ろしを行う際は、安全に十分配慮してください。

事前の準備

- ☐ 食料品や日用品を備蓄（約3日分）
- ☐ 暖房用の灯油を1缶余分に買い置き
- ☐ マイカーの燃料を満タンに

除雪・屋根雪下ろしの注意点

- ☐ 複数人で少しずつ何回かに分けて作業
- ☐ 除雪機は正しく安全に使用
- ☐ 救援連絡用に携帯電話を持つ

外出時の注意事項

- ☐ 出発前に気象情報や道路状況を確認
- ☐ スノータイヤやチェーンを適切に装着し、古くなった場合は交換
- ☐ スコップやけん引ロープ、防寒具、長靴などを携行
- ☐ 車上の雪を下ろしてから出発



道路情報は「みち情報ネットふくい」

除雪・降雪時は公共交通機関や在宅勤務を活用し、マイカーの利用を控えましょう。

お問い合わせ　道路保全課／TEL.0776-20-0477